

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第19回鳥栖市地域公共交通会議、第19回鳥栖市地域公共交通活性化協議会 合同会議		
開催日時	平26年6月25日(水) 15:00～	開催場所	市役所3階大会議室
出席者数	21人	傍聴人数	1人
議 題	(1)平成25年度鳥栖市地域公共交通活性化協議会収支決算（案）について (2)平成26年度鳥栖市地域公共交通活性化協議会収支予算（案）について (3)平成26年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画（案）について (4)平成27年度鳥栖市生活交通ネットワーク計画（案）について (5)鳥栖市ミニバス基里地区・旭地区循環線の運行継続について (6)鳥栖市ミニバス鳥栖地区循環線の運行内容の一部変更について		
配布資料	(1)平成25年度鳥栖市地域公共交通活性化協議会収支決算（案）について (2)平成26年度鳥栖市地域公共交通活性化協議会収支予算（案）について (3)平成26年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画（案）について (4)平成27年度鳥栖市生活交通ネットワーク計画（案）について (5)鳥栖市ミニバス基里地区・旭地区循環線の運行継続について (6)鳥栖市ミニバス鳥栖地区循環線の運行内容の一部変更について (7) 路線バス及び鳥栖市ミニバスの利用状況について		
所 管 課	（課名）国道・交通対策課 （電話番号）85-3602		

協 議（ 議 事 ） 録

議 題	第 19 回地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会 合同会議
日 時	平成 26 年 6 月 25 日（水） 15 時 00 分～16 時 30 分
場 所	3 階大会議室
出席者	<p><委員> 井上委員、伊佐委員、橋本委員、川下委員（随行：笹井氏）、多々良委員、森川委員、大隈委員、藤委員、下田委員、今村委員、三橋委員（代理：宮崎氏）、詫間委員、吉富委員、河島委員（代理：大迫氏）、高塚委員（代理：小隈氏）</p> <p><事務局> 国道・交通対策課 5 人</p>

《結果》

議案第 1 号	平成 2 5 年度鳥栖市地域公共交通活性化協議会収支決算（案）について	【承認】
議案第 2 号	平成 2 6 年度鳥栖市地域公共交通活性化協議会収支予算（案）について	【承認】
議案第 3 号	平成 2 6 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画（案）について	【承認】
議案第 4 号	平成 2 7 年度鳥栖市生活交通ネットワーク計画（案）について	【承認】
議案第 5 号	鳥栖市ミニバス基里地区・旭地区循環線の運行継続について	【承認】
議案第 6 号	鳥栖市ミニバス鳥栖地区循環線の運行内容の一部変更について	【承認】

《意見等》

（平成 2 7 年度鳥栖市生活交通ネットワーク計画（案）について）

○前年度の国庫補助金額はいくらか。

●約 8 3 0 万円である。昨年度比較すると今年度は減額となっている。

○減額になっている理由は。

●国庫補助の考え方を簡単に説明すると、収益が上がれば、補助額が減少するという考え方であり、昨年度と比較し大幅に減少したのが、市内線の綾部線とミニバス旭地区循環線である。

両路線とも、昨年度申請した時点では、運行に関する実績が無く見込み値で申請していたが、今年度実績が、昨年度の見込み値より大きかったため、補助の申請額が減少している。

なお、弥生が丘循環線については、新設では無かったが、路線変更及び減便していた為、見込み値となっていた。

○生活交通ネットワーク計画と路線バス及びミニバスの利用状況の資料と年度の考え方が違っているが。

●生活交通ネットワーク計画は、国の指定により年度をつけているが、利用状況の資料は、市の予算年度に合わせているため、違いが生じている。

○年度を使い分けるのは、資料が解りにくいので統一すべきでは。

●整理をさせて頂いて年度を合わせたい。

（ミニバス基里地区・旭地区循環線の運行継続について）

○旭地区循環線の利用者は徐々に増えているが、他地区に比べるとまだまだ、少ない。今後、継続するに当たりどう考えていくのか。

●これまでに、旭地区の各町老人クラブへ訪問し、高齢者福祉乗車券制度も含め P R をおこなっている。

その成果として徐々に増加していると考える。

今後についても、バスマップ等の利用促進策と併せて、旭地区については特化して訪問し P R するなど継続していきたいと考える。

（鳥栖市ミニバス鳥栖地区循環線の運行内容の一部変更について）

○以前あったユメタウンの後は何かできるのか。

●現在のところ、具体的に何ができるか把握できていない。

ユメタウン時には、鳥栖地区循環線が乗り入れていたので、今後も情報収集に努めたい。

(路線バス及び鳥栖市ミニバス利用状況について)

○65歳以上の高齢者が使用できる高齢者福祉乗車券は、現在、購入冊数に上限があり、良く使用される方は、足らずに、回数券等に対応している。できれば、上限をなくして頂ければ、利用者も増えるのではないかと考えている。

●高齢者福祉乗車券制度の担当課である社会福祉課へ伝えたい。

担当課としても、多くの方に利用して頂きたいと考え、購入制限を設けていると聞いている。

○先ほど、生活交通ネットワーク計画の際に、路線バスについては、麓線が減少しているため今後の対応が必要と説明されていたが、減少している要因は。

●麓線と広域線である綾部線は、新鳥栖駅が開設され、在来線での移動ができるようになり、JR移動へシフトしたことにより、減少していると考えていた。

しかし、現在でも減少傾向であるため、この要因だけではないと考え、麓線について、検証したいと考えている。